

事業リスト【「ほこり」の柱】

目指す姿	重点施策	事業	
		事業名	事業内容
市民の『ほこり』 市民がみな、常総の「強み」を理解し、力をあわせてさらなる発展を目指している。	常総インターチェンジ周辺の食農・防災拠点づくり	防災営農・産業団地の整備	産業団地の基盤を整備し、ベンチャー企業も含む企業を誘致する。また、農地の大区画化、営農団地の基盤整備、大規模施設園芸の実践、農業生産法人の誘致・育成を行う。進出企業には災害連携協定の締結を条件とし、防災拠点としての機能を付加する。
		大規模防災「道の駅」の整備	常総インターチェンジ周辺の営農団地や市内外の農産物の6次産業化に資する道の駅を整備する。さらに、施設の高層化・屋上駐車場化を図ることにより、緊急時の避難機能やヘリコプターの発着等も可能な防災型の「道の駅」を目指す。
		市民参加型ミニマムショップの促進	大規模防災「道の駅」周辺の駐車場などを活用し、コンテナや軽トラックで市民が気軽に店を出せる場と体制を整備する。
		グリーンツーリズムの強化	農業体験を積極的に提供することで、給食への農作物提供や、来訪した子供の家族向けの宣伝効果を期待する。観光農園や広大な田んぼの広がる田園風景を観光資源へ転化する。
		アグリサイエンスバレーの促進	アグリサイエンスバレー構想に賛同し新しい農業に取り組む農業者・農業生産法人が、高収益作物の生産拡大に向けて市内で行う初期投資(パイプハウス設置、井戸掘り等)に対して助成を実施し、アグリサイエンスバレーの促進を図る。
農業を再建し、振興する		認定農業者の育成支援	認定農業者(農林水産省)の認定を推進する。また、農業基盤の整備や農業用機械等の購入に際し、利子助成を実施し、認定農業者育成のための支援を行う。
		地域農業戦略の策定と実施	集落・地域での話し合いに基づき、水田の畑地化や地域振興作物の選定を含む農業戦略と経営再開計画を作成し、常総市全体の新たな地域農業の復興を図る。
		農業効率化の支援	農業の大規模経営化、貸農地(農地バンク)などを強力に推進し、早く、効率的に、持続可能な農業経営の実現を支援する。
		青年就農給付金の交付	青年の新規就農者を確保するため、支援金を交付する。経営が不安定な就農直後に支援を行うことで、持続的に農業を続けてもらう。
		パイロット栽培作物への営農支援	パイロット的に栽培する作物に対し、技術支援・販路開発等経営支援を行う。また、ブラジル関連作物、ハラル対応作物などを栽培することで世界展開の足がかりとする。
商工業を再建し、振興する		緊急対策融資	災害の影響により損害を受け、経営の安定に支障をきたしている事業者に対し、事業継続のための融資を実施する。
		被災中小企業の復興支援	国・県と連携し、被災した中小企業への各種助成などを通じ、事業の再開や事業継続を支援する。また、中小企業や商工会などが行う商工業の復興に対する取り組みを支援する。
		空き店舗の再活用促進	空き店舗を活用して開業する商店主に対し、店舗改装等への補助金を交付し空き店舗の利用を促進する。身近な買い物場所の活性化を図るとともに、水害によるまちの空洞化を防ぐ。
若者・後継者のネットワークづくりを支援する		アグリビジネスの雇用支援	常総インターチェンジ周辺整備事業で形成される産業団地・営農団地・道の駅を想定した集客販売施設への雇用支援、営農団地における新規就農及びベンチャー企業の育成を支援する。経営者の右腕として活躍する人材の確保や後継者マッチングなどの支援も行う。
		ビジネス支援サービスの実施	市図書館に設置されている「ビジネス支援コーナー」の充実を図る。資料提供だけでなく、相談会や研修会、セミナーなどの開催・開講により、日本人、外国人を問わず就業・起業を望む人材への支援や育成を行う。
		「わかもの・よそもの」交流の促進	農商業の後継者たちが孤立しないよう、交流会の積極的な開催やウェブを使った交流を促進する。さらに、大学生などが試験的に出店できるように地域住民が支える仕組みをつくり、地元後継者と若者が一緒に交流できるネットワークを構築し、常総市への新規起業育成や後継者の獲得に資する。
		ベンチャー営農活動拠点の構築	若者・後継者が農作物の試験栽培ができて学べる「検証ハウス」を、集客力があり販路開拓にも適した常総インターチェンジ道の駅に併設し、新規栽培のリスクを低減させる。また、この活動拠点には、若者・後継者がいつでも相談できたり、交流できたりする駆け込み寺的な機能も持たせる。
農商工連携と世界展開を支援する		世界最先端のアグリ・テクノロジーの応用支援	シリコンバレー及び日本の最先端のアグリ・テクノロジー(低コスト光型栽培装置、農作業の自動化技術、IoTによる農作業の最適化、農作物の加工技術)の実践を支援する。技術的支援やビッグデータ解析等は、筑波大学の協力を得る。
		6次産業化・農商工連携の推進	6次産業化を推進するため、プランナーによるサポート、無利子融資資金の償還期間等の延長、新商品開発・販路開拓等に対する補助のかさ上げ等を実施する。その際には、銀行等のファンディングを積極的に活用する。
		安心・安全なブランドの確立と発信	原発の風評被害を払拭し、オリンピック・パラリンピックに常総の農作物を提供できるよう、海外の安全基準もクリアする「常総ブランド」を商業と連携して確立する。さらに、積極的にその情報発信を行う。
		世界で通用する常総の食農の開発支援	常総の米、味噌、野菜、肉等を、常総発の名産食セットとして販売するために、商品開発の支援を行う。
		グローバルにがんばる企業応援	常総市で開業し農業のグローバル展開に寄与する企業の自発的な取り組みに対し、開業場所の提供や販路開拓への支援を行う。